

舞鶴市図書館の再編

について



【課題】

市民の図書館利用の低迷
登録率の減少、貸出冊数の減衰

市民が求める必要な情報に対する
適切な資料・情報の提供不足

地域別の利用格差

施設的な魅力として限界
環境の広さ・図書収容力
ふたつの同規模図書館の課題
専門書の導入や図書館員の連携が難しく非効率

地域サービス拠点の不足

【可能性】

高度な専門情報の蓄え

ワンストップ相談窓口
総合的な分野の情報がストック

全市域サービス網の構築

まちの広場
地域情報ハブとしての求心力

地域社会・生活に役立つ
サービスの提供

個人の自立化支援

地域の教育力向上支援

図書館基本計画策定にかかる取組状況

- 図書館協議会設置 (H30.4) 現状と課題、将来像について協議
- 協議会からの提言 (R2.2) 課題解決型図書館への転換を提言
- 準備部会 (R3.11~R4.3) 3回開催 (現状と課題の確認)
- 図書館基本計画策定審議会設置 (R4.4~R4.9)
- 第1回審議会 (R4.4.21) 舞鶴市図書館基本計画の策定を諮問
- 市議会講演会 (R4.4.21)
- 第2回審議会 (R4.5.19) 本市図書館の達成したい目標値設定
- 第3回審議会 (R4.6.23) 守山市立図書館、愛知川図書館視察
- 第4回審議会 (R4.7.13) 基本計画原案審議
- 第5回審議会 (R4.8.8) 答申案確認
- 審議会答申 (R4.8.8)
- 市民フォーラム (R4.8.20)
- パブリックコメント (R4.10.21~11.20)
- 舞鶴市図書館基本計画を策定 (R4.12)
- 市民フォーラム (R5.5.13)
- 図書館市民ワークショップ (R5.11~R6.3) 5回開催

I. 課題解決型図書館への脱皮

高度な専門情報を蓄え、地域社会・地域生活に役立つ、課題解決型図書館

II. 子どもたちや社会的弱者など、あらゆる市民に対するサービスの展開

多角的な包摂サービスの展開

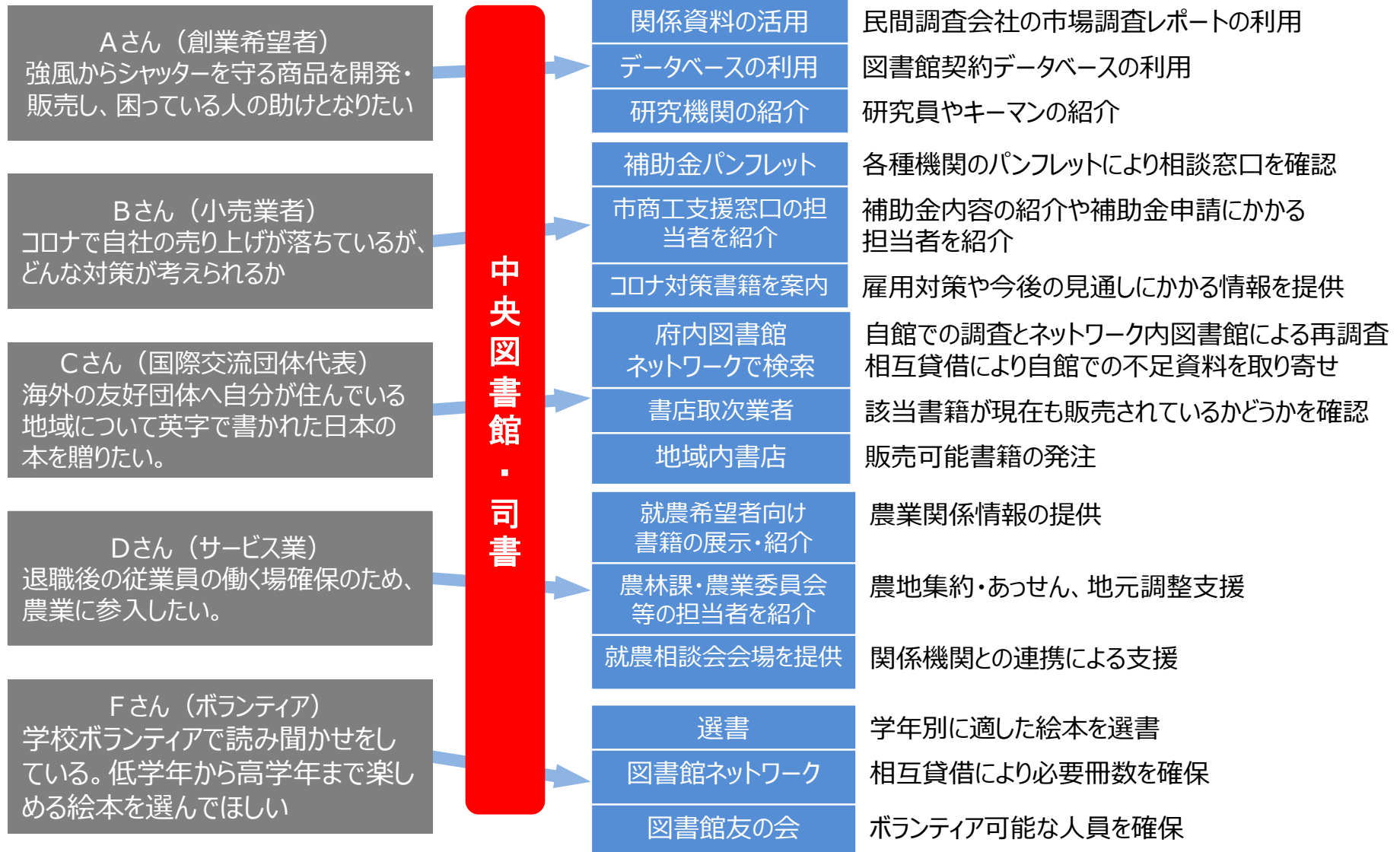
III. 全市域へのサービス網の構築

舞鶴市の全域へサービスがつながる、地域格差を感じさせない図書館システムへの再編

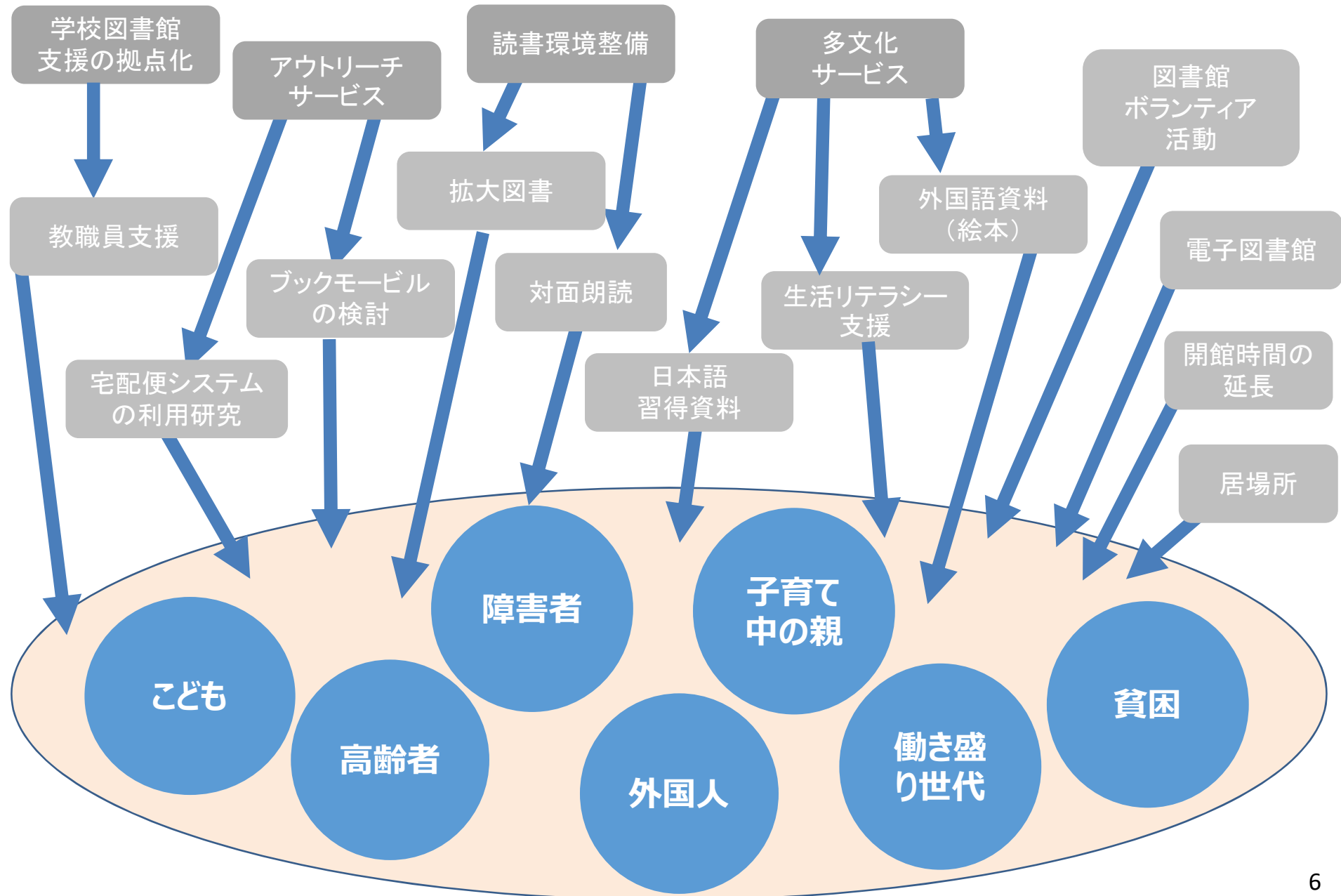
I - 1 課題解決型図書館のイメージ

【課題・ニーズ】

【解決に役立つ情報を提供】



Ⅱ-1あらゆる市民に対するサービスのイメージ



【3つの図書館の旗印】

『頼れる友人』となる図書館

様々な知識情報を提供し、
市民の生涯を通じた学びを支える。

『情報の窓』となる図書館

新しい時代の情報発信基地となる図書館

『都市の広場』としての図書館

舞鶴に暮らす魅力と文化を
生み育てる地域社会の核

頼れる友人
暮らし・学び

社会・つながる
情報の窓

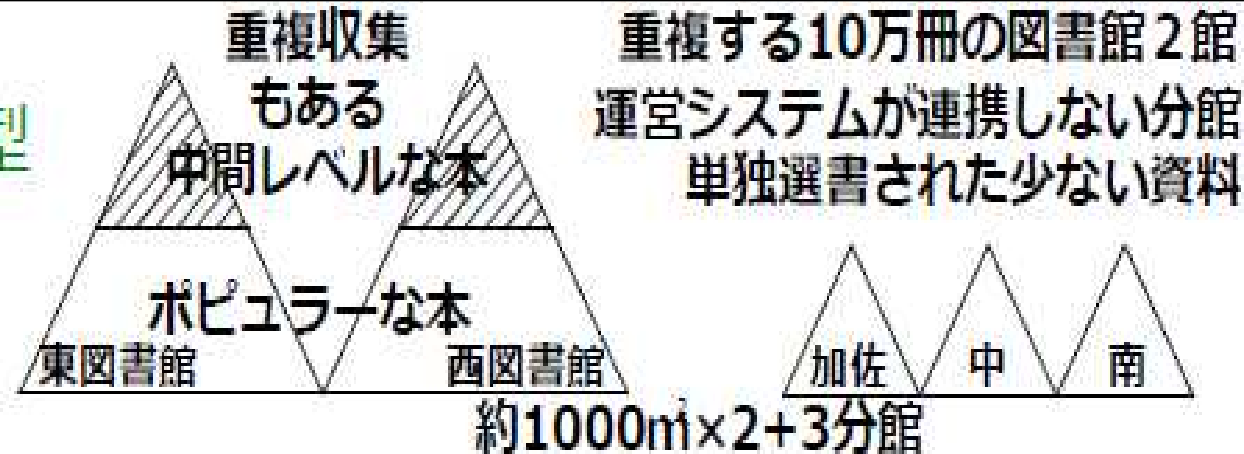
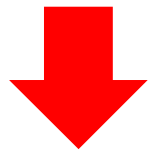
都市の広場
出会い・地域



舞鶴市図書館システムの再編

- 図書館システムのセンター化
- 人、施設、資料の集約・統合
- 図書館サービスの企画・運営・管理力の強化（司書の能力向上）

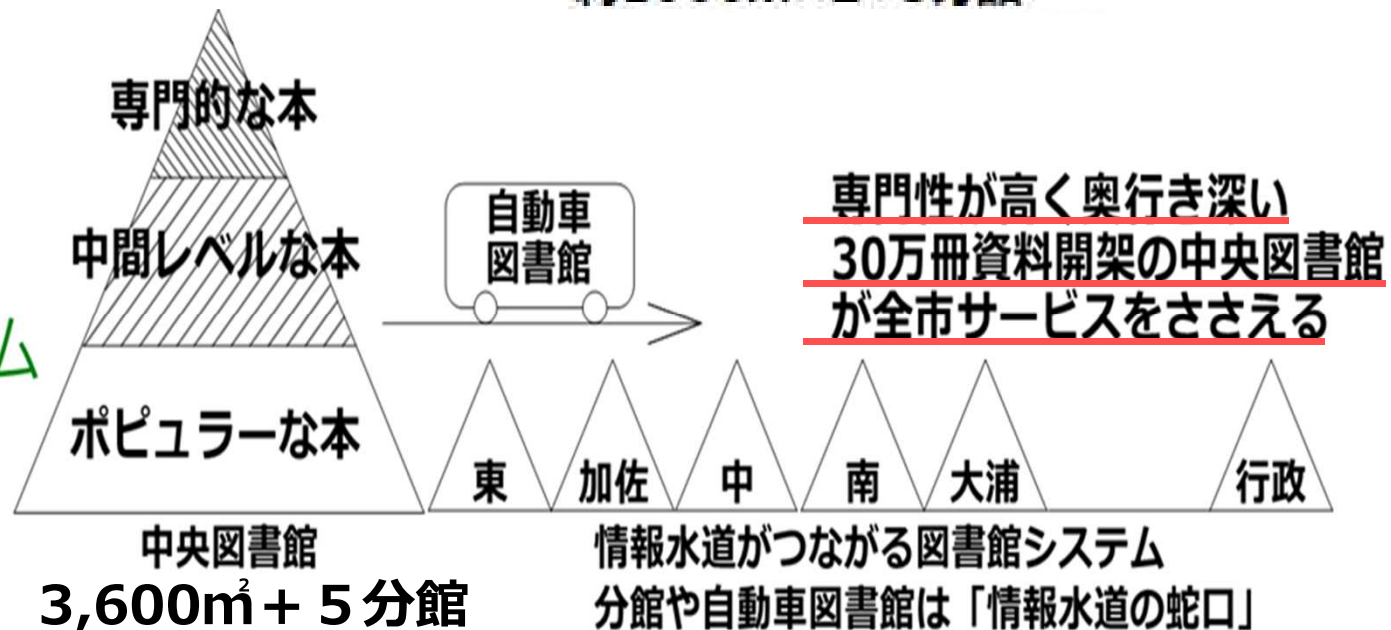
これまでの2極型
図書館システム



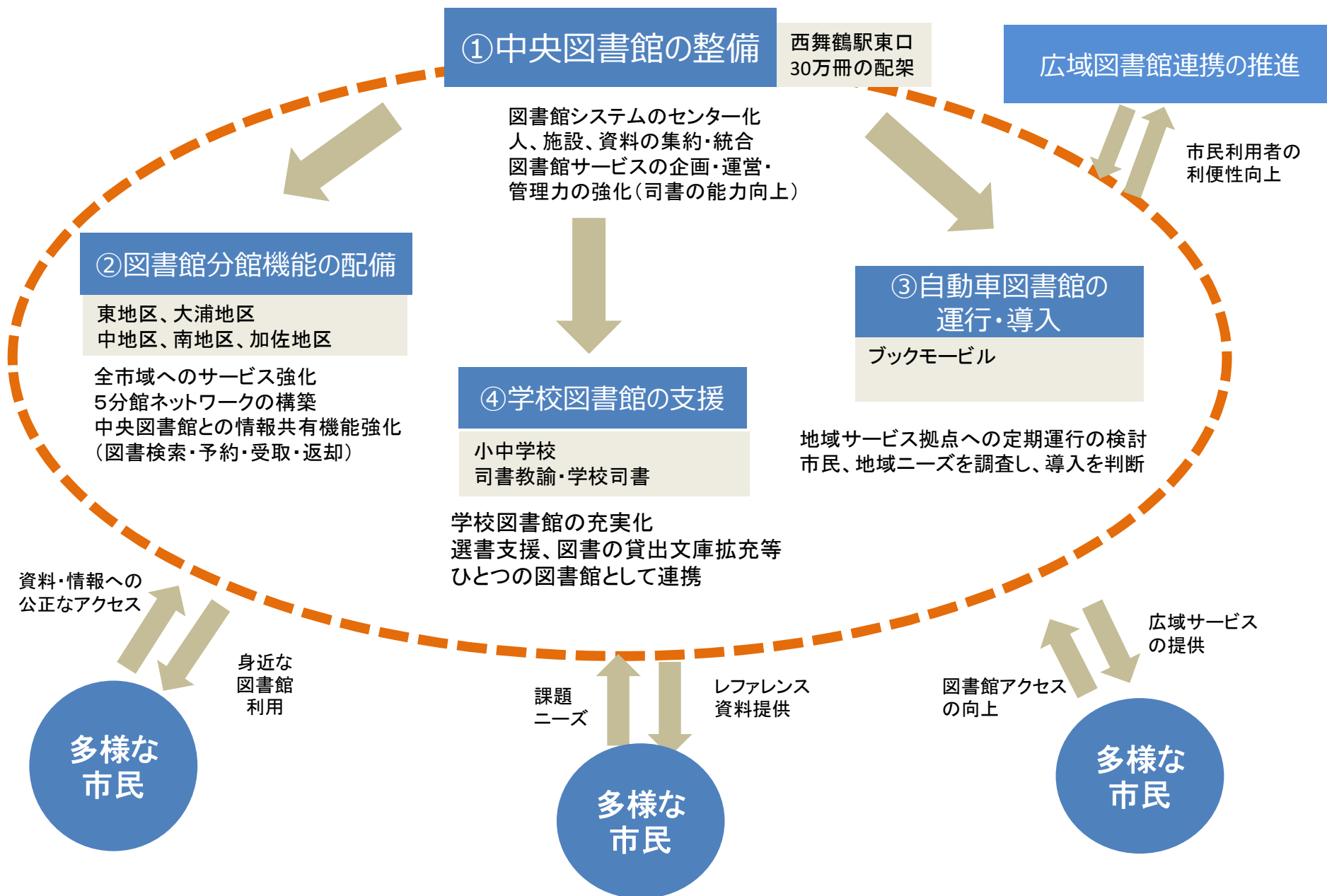
これからの
中央図書館と
つながる
図書館システム



図書館の
魅力拡大



舞鶴市をおおう図書館サービス網の再編にかかる施策



建設候補地：JR西舞鶴駅東口



＜中央図書館候補地イメージ＞
 ・延床面積：3,600㎡

中央図書館概算事業費	約38億円
[内訳]	
中央図書館建設費 (図書費、備品等含む)	約30億円
北側緑地整備費	約1億円
用地購入費	約6億円
除却工事費	約1億円
財源内訳 (予定)	
国庫支出金 (国土交通省)	約17億円
地方債	約16億円
一般財源	約5億円

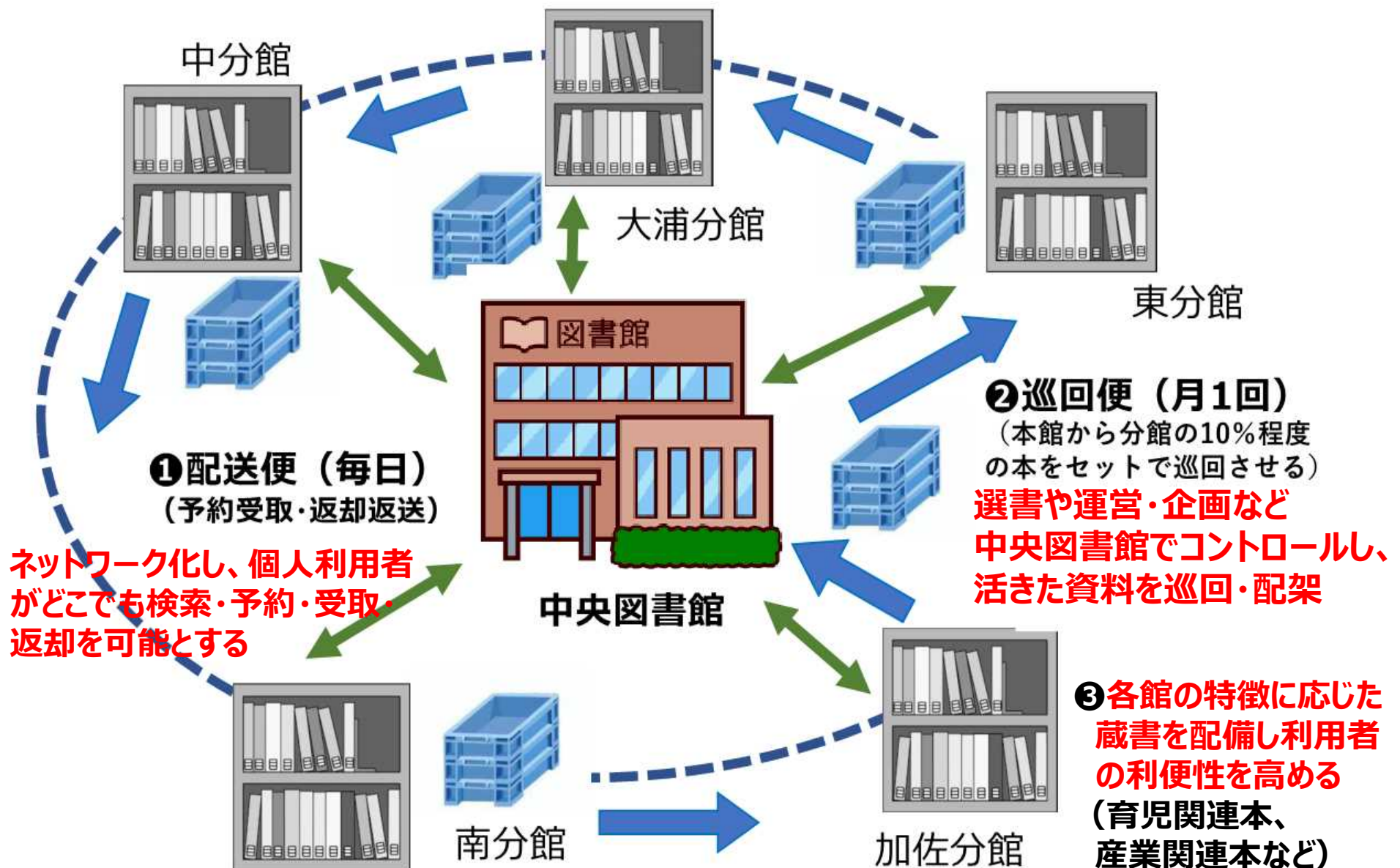
＜ 図書館再編にかかる今後のスケジュール (案) ＞

令和5年度	基本設計 (事業者選定) ・ワークショップの開催
令和6年度	基本設計・ワークショップの開催
令和8年度	整備工事開始 (～令和9年度)
令和9年度末	中央図書館開館 (分館ネットワーク構築・サービス開始)
令和10年度	東西図書館の廃止・除却 (～令和11年度)

(参考) 中央図書館の概要

想定エリア	舞鶴市全域
規模	延床面積3,600m ²
開架冊数	27万冊（開架資料17万冊＋準開架資料10万冊）
主な機能	レファレンスデスク（相談窓口）、子ども用くつろぎ読書席、自動車図書館、集会・展示機能、フリースペース
主要部門・配置	<p>1. 開架部門（より深い資料世界） レファレンスデスク、一般開架部門、子ども開架、静寂室 新聞・雑誌コーナー</p> <p>2. 閉架部門（多様な資料の収蔵） 公開書庫・閉架書庫（資料保存部門）</p> <p>3. 企画・運営部門（全域システムのマネージメント） BM書庫・車庫、全市域サービス用作業室、選書・受入・整理書庫</p> <p>4. 集会・展示部門（主要機能） ・学習・創作支援（市民活動室） ・市民情報交流広場（フリースペース、展示コーナー）</p>

分館機能の充実【ネットワークイメージ】



分館機能の充実【分館の増加】

3 地区

(南地区・加佐地区・中地区)

＜南公民館・加佐公民館・中総合会館＞

5 地区へ

(東地区・大浦地区に
分館を新設)

■ 新分館候補施設

(施設選定については、市民意見も参考に市で決定)

＜東地区分館候補施設（下記2施設）＞

＜大浦地区分館候補施設＞



商工観光センター



まなびあむ



大浦会館

現在の東・西図書館については、中央図書館への統合に伴い、廃止・除却

※中央図書館への統合・集約に伴う東西図書館廃止後の除却費用は、国庫補助金の活用を予定
※既存図書館を建替えもしくは長寿命化改修するには、十数億円の経費負担が想定

舞鶴市図書館の成長に必要な4つの要素

